先輩ママからのメッセージ

「オランダへようこそ」

エミリー・パール・キングズレイ

私はよく「障がいのある子を育てるのって どんな感じ? | と、聞かれることがあります。 そんな時私は、障がい児を育てるというユ ニークな経験をしたことがない人でも、そ れがどんな感じかわかるようにこんな話を します。

赤ちゃんの誕生を待つまでの間は、まるで、 素敵な旅行の計画を立てるみたい。

例えば、旅先はイタリア。

山ほどガイドブックを買いこみ、楽しい計 画を立てる。コロシアム、ミケランジェロ のダビデ像、ベニスのゴンドラ。

簡単なイタリア語も覚えるかもしれない。 とてもワクワクします。

そして、何カ月も待ち望んだその日がつい にやってきます。

荷物を詰め込んで、いよいよ出発。数時間 後、あなたを乗せた飛行機が着陸。

そして、客室乗務員がやってきて、こう言 うのです。

「オランダへようこそ! |

「オランダ!?」

「オランダってどういうこと?? 私は、イ タリア行の手続きをし、イタリアにいるは ずなのに。ずっと、イタリアに行くことが 夢だったのに |

でも、飛行計画は変更になり、飛行機はオ ランダに着陸したのです。あなたは、ここ にいなくてはなりません。

ここで大切なことは、飢えや病気だらけの、 こわくてよごれた嫌な場所に連れてこられ たわけではないということ。 ただ、ちょっと「違う場所」だっただけ。

だから、あなたは新しいガイドブックを買 いに行かなくちゃ。

それから、今まで知らなかった新しいこと ばを覚えないとね。

そうすればきっと、これまで会ったことの ない人たちとの新しい出会いがあるはず。

ただ、ちょっと「違う場所」だっただけ。

イタリアよりもゆったりとした時間が流 れ、イタリアのような華やかさはないかも しれない。

でも、しばらくそこにいて、呼吸をととの えて、まわりを見渡してみると、

オランダには風車があり、チューリップが 咲き、レンブラントの絵画だってあること に気付くはず。

でも、まわりの人たちは、イタリアに行っ たり来たりしています。そして、そこで過 ごす時間がどれだけ素晴らしいかを自慢す るかもしれないのです。

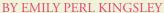
きっと、あなたはこの先ずっと「私も、イ タリアへ行くはずだった。そのつもりだっ たのに。」と、いうのでしょう。

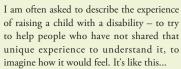
心の痛みは決して、決して、消えることは ありません。

だって、失った夢はあまりに大きすぎるから。

でも、イタリアに行けなかったことをいつ までも嘆いていたら、オランダならではの 素晴らしさ、オランダにこそある愛しいも のを、心から楽しむことはないでしょう。

Welcome to Holland





When you're going to have a baby, it's like planning a fabulous vacation trip – to Italy. You buy a bunch of guidebooks and make wonderful plans. The Coliseum. The Michelangelo David. The gondolas in Venice. You may learn some handy phrases in Italian. It's all very exciting.

After months of eager anticipation, the day finally arrives. You pack your bags and off you go. Several hours later, the plane lands. The stewardess comes in and says, "Welcome to Holland." "Holland?!?" you say. "What do you mean Holland?? I signed up for Italy! I'm supposed to be in Italy. All my life I've dreamed of going to Italy."

But there's been a change in the flight plan. They've landed in Holland and there you must stay. The important thing is they haven't taken you to a horrible, disgusting, filthy place full of pestilence, famine and disease. It's just a different place.

So you must go out and buy new guidebooks. And you must learn a whole new language. And you will meet a whole new group of people you never would have met. It's just a different place. It's slower-paced than Italy, less flashy than Italy. But after you've been there for a while and you catch your breath, you look around...and you begin to notice Holland has windmills...and



Holland has tulips. Holland even has Rembrandts.

But everyone you know is busy coming and going from Italy...and they're all bragging about what a wonderful time they had there. And for the rest of your life, you will say, "Yes, that's where I was supposed to go. That's what I had planned."

And the pain of that will never, ever, ever, ever go away...because the loss of that dream is a very, very significant loss.

But...if you spend your life mourning the fact that you didn't get to go to Italy, you may never be free to enjoy the very special, the very lovely things...about Holland.

©1987 BY EMILY PERL KINGSLEY. ALL RIGHTS RESERVED.

翻訳 佐橋 由利衣 Yurie Sahashi

全米ダウン症協会発行の「すばらしい可能性 のある未来へ〜ご懐妊&新生児のご両親への ガイド」(原題 "A Promising Future: A Guide to New and Expectant Parents")を許可を得 て翻訳

http://www.ndss.org/Resources/New-Expectant-Parents/A-Parents-Perspective/

作者のエミリー・パール・キングスレイさんは、セサミストリートの作家を長く務め、1974年にダウン症のある息子さんが生まれてからは障がいのある人々のことを知らせる働きもされています。この「オランダへようぐさめやヒントとして語り継がれています。